

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	建築一般構造2	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	開講時間		授業形態	講義
教科書/教材	初めての一般構造(学芸出版社)、必携 建築資料(実教出版)／レジュメ・資料を配布				
担当教員情報					
担当教員	大澤 公仁		実務経験の有無・職種	有・建築設計 一級建築士	
学習目的					
鉄筋コンクリート造、鉄骨造などの構造を中心に学習する。鉄筋コンクリート造では鉄とコンクリートの互いの弱点を補いあった構造形式であることの解説や材料の特性まで幅広く解説をする。鉄骨造では構造の特徴、架構形式や鋼材の種類など、専門家として必要な知識を身につける。その他の構造として、プレキャストコンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造などの構造形式について、解説を行う。また各種仕上げとして建築の内・外部仕上げも解説を行うことで、建築一般構造について幅広い知識を得る。					
到達目標					
各分野の建築構造・工法・仕上げに対する基礎的知識の把握や、設計演習等で活用できる様に実際に設計する為の知識の習得ができる。また、将来建築・インテリア系の資格取得の為の知識の把握することを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	一般的に難解とされる建築一般構造について、理解を深める事でスキルが上がる事に主眼を置く。建築構造の要点について解説するのはもちろんであるが、具体的な写真やイラスト用い解説する事で理解を深める。この授業に主体的に参加する学生が、幅広く建築構造に理解を深め、より良い建築デザインを導き出すことを目指す。				
	注意点				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験	50%	今までの学習内容から出題する		
	小テスト	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	鉄筋コンクリート造の原理・構成		他の構造と比べて短所・長所を理解		
2回	配筋		付着・定着・継手など専門用語を理解		
3回	地盤、基礎		基礎形式と地盤の種類を解説		
4回	主体構造(柱・梁)		梁・柱の配置や構造計画を説明		
5回	主体構造(床・壁・階段)		配筋を中心に解説		
6回	型枠		型枠の種類や工法を解説		
7回	プレキャストコンクリート		構造形式の理解		
8回	防水		工法の種類の把握、特徴を理解		
9回	鉄骨造の原理・構成		鉄骨造の架構形式を理解		
10回	柱脚、基礎		柱脚、基礎形式の解説		
11回	骨組み(柱・梁)		鉄骨造の骨組み形式を理解		
12回	鉄骨鉄筋コンクリート造等		SRC造の解説		
13回	各種仕上げ①		外部仕上げの解説		
14回	各種仕上げ②		内部仕上げの解説		
15回	まとめ、質疑応答		今まで行った講義の総括、質疑応答		